

キャンパスベンチャーグランプリ大阪 2020 (CVG 大阪 2020) 新型コロナウイルス感染症への対応につきまして

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、厚生労働省他関係各所より、国民・企業・事業者に対し感染拡大の防止に向けた行動を強く推進するよう呼びかけられております。

CVG 大阪大会につきましても、政府の新型コロナウイルス感染症対策専門会議が取りまとめた「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」(3/28 公開) および「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(4/1 公開および5/14 公開) にもとづき対応を進めております。

11月25日(水)開催予定のプレゼン審査会(第二次審査会)および、12月7日(月)開催予定の最終審査会・表彰式につきましては、上記対処方針および状況分析・提言の指標をもとに状況分析を行い、別紙の通り、最小人数での開催や、リモート開催への切り替えという対応を実施することで、参加者ならびに関係者の安全確保に努めます。

【具体的な対応策】

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」の「地域区分」の考え方にもとづいて大阪および関西圏のまん延状況を判断し、下記の3段階で対応に当たります。同時に、特定警戒都道府県(特定警戒地域)指定下における政府および大阪府による要請にもとづいて判断いたします。

(1) 感染拡大警戒地域/特定警戒地域・感染拡大注意：リモート開催

感染拡大を生じないよう最大限に取り組んでいく観点から「3密」を避けるよう、全面的なリモート開催への切り替えをいたします。

具体的には、大学等でのリモート講義の利用実績が高いWeb会議システム「ZOOM」等を用いて、応募者(以下「学生」と審査員、事務局をオンラインで接続し、プレゼンテーション・プレゼン審査・採点審査・結果発表のすべてをリモートで実施。表彰式は中止とし、受賞者には後日、表彰状・賞金を授与します。

(2) 感染確認地域/感染観察地域：最小人数での開催

「3密」を回避する対策として、多人数の参加を回避し、最少人数による開催に切り替えます。

具体的には、プレゼン審査会および最終審査会・表彰式を大規模会場で実施(日刊工業新聞社大阪支社セミナールームおよび北おおさか信用金庫本店ホール)。審査委員(10名)と各学生による個別での審査に切り替え、かつ学生(応募チーム)は2名のみの参加に限定いたします。同時に、控室への学生の入場は1チームのみに限定します。表彰式につきましても、同様に個別での表彰に切り替え、多人数が同一会場にいる状況を回避します。

また、審査員および学生については、直近2週間の出張ならびに海外渡航の有無を確認し、感染拡大警戒地域での滞在が認められる場合は、参加不可といたします。

加えて、適切な感染症対策として、厚生労働省「感染症への注意喚起」にもとづき、次の対応策を徹底いたします。①審査員と学生、審査員同士、学生同士の十分な間隔の確保、②アルコール消毒液の設置、③手洗い・マスクの着用・うがいの励行の要請、④会場内の空気清浄機の設置、⑤体温計の設置、⑥付近の医療機関の情報の掲示。

(3) 感染未確認地域：「3密」を回避しての開催

(2)と同様「3密」の回避を徹底しつつ適切な感染症対策を講じたうえで実施いたします。

具体的には、上記(2)の対策を同様に実施し、感染者が確認されていない状況下であっても、感染拡大のリスク低減を徹底いたします。